日野町国土利用計画

（第6次）

【資料編】

令和４年（2022 年）４月

日野町

目　　次

１．土地利用の現況 1
（１）位置 1
（２）利用区分別面積の現況 2
（３）土地利用転換などの動向 2
ア　利用区分別土地利用面積の推移 2
イ　農地転用の動向 5
２．土地条件等の現状 6
（１）自然条件 6
ア　気象 6
イ　地形・地質 6
ウ　水系 7
エ　景観 7
（２）社会的条件 8
ア　法規制 8
イ　地価 12
（３）歴史文化的条件 13
ア　歴史・文化 13
３．社会・経済の現状 15
（１）人口・世帯数 15
ア　人口の推移 15
イ　人口動態の推移 16
ウ　世帯数の推移 16
（２）産業 17
ア　産業構造 17
イ　農家及び経営耕地面積 18
ウ　工業 18
エ　商業 19
オ　観光 20
（３）道路・公共交通体系 21
ア　道路 21
イ　公共交通 23

（４）生活環境 24
ア　住宅 24
イ　公園・緑地 24
ウ　上・下水道 25
４．土地利用の計画 27
（１）土地利用の転換 27
（２）土地利用現況図と土地利用構想図 28

１．土地利用の現況

（１）位置

日野町は、滋賀県の東南部、鈴鹿山脈の西麓に位置し、町域の東西にかけて南側は甲賀市、北側は東近江市と境を接している。半径50km圏内に京都市、四日市市、大垣市などがあり、100km圏内には大阪市、岐阜市、名古屋市等京阪神・中京圏が含まれる。町域は東西14.5km、南北12.3km、総面積117.60k㎡である。

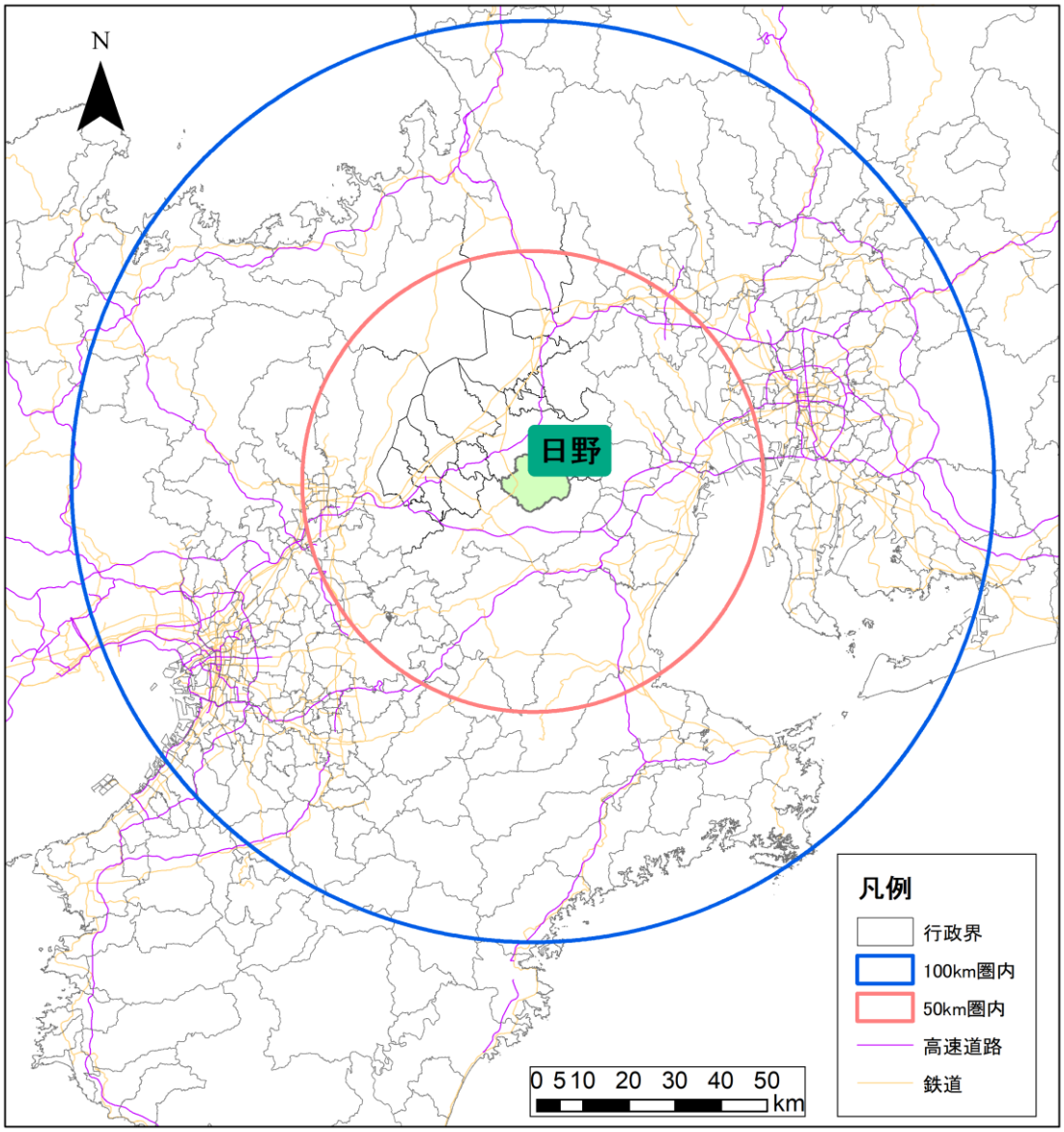


図　位置図

（２）利用区分別面積の現況

日野町の町土面積は117.60㎢で、町土の大部分は山地と丘陵地からなり、集落や耕地は綿向山から発する日野川沿いの日野谷と竜王山から発する佐久良川沿いの桜谷に分布している。令和元年時点での可住地面積（町土総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いた面積）は、56.36㎢となっている。

利用区分別面積の現況は、農用地が1,980haと全体の16.8％を占めている。

森林は6,106haで全体の51.9％を占め、東部地域では、鈴鹿山脈に連なる山地を形成し、町の中心部を取り巻く周辺部一帯にも分布している。

水面・河川・水路は484haで全体の4.1％を占め、本町には日野川をはじめ1級河川として17河川が流れている。

道路は462haで全体の3.9％を占め、南北方向に国道307号、東西方向に国道477号が通っている。

住宅地や工業用地等からなる宅地は731haで全体の6.2％を占めている。川沿いの肥沃な土地には、古代より人々が定住していた痕跡がみられ、中心部は中世に蒲生氏の拠点として栄え、古くから形成された旧市街地があるとともに、丘陵地に入り込んだ枝状に集落が分布する。また、北部地域は国道307号沿いに工業団地が開発され、工業用地が集積している。

（３）土地利用転換などの動向

ア　利用区分別土地利用面積の推移

利用区分別面積の平成23年から令和2年までの推移をみてみると、農用地は年々減少しており、10年間で約51haが減少している。また、森林は約19haが減少している。一方で、道路は約21haの増加、宅地は約28haの増加がみられる。

本町の土地利用転換の動向として、農用地や森林等の宅地や一般道路への転換もみられる。

利用区分別の土地利用面積の推移は別表のとおりである。

表　利用区分別面積の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1. 農用地(ha)	2,031	2,021	2,021	2,020	2,009	2,009	2,010	1,991	1,989	1,980
(1)農地(ha)	2,031	2,021	2,021	2,020	2,009	2,009	2,010	1,991	1,989	1,980
(2)採草放牧地(ha)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2. 森林(ha)	6,125	6,125	6,125	6,124	6,116	6,116	6,115	6,115	6,107	6,106
3. 原野(ha)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
4. 水面・河川・水路(ha)	485	485	485	485	485	485	485	484	484	484
(1)水面(ha)	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
(2)河川(ha)	221	221	221	221	221	221	221	221	221	221
(3)水路(ha)	114	114	114	114	114	114	114	113	113	113
5. 道路(ha)	441	441	441	445	448	454	472	472	462	462
(1)一般道路(ha)	289	289	289	293	296	302	320	320	311	311
(2)農道(ha)	123	123	123	123	123	123	123	123	122	122
(3)林道(ha)	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
6. 宅地(ha)	703	705	709	710	718	719	722	723	728	731
(1)住宅地(ha)	345	347	348	348	349	351	352	353	354	355
(2)工業用地(ha)	236	240	230	239	242	242	254	238	238	240
(3)その他の宅地(ha)	122	118	131	123	127	126	116	132	136	136
7. その他(ha)	1,978	1,986	1,982	1,979	1,984	1,977	1,956	1,975	1,990	1,997
合計(ha)	11,763	11,763	11,763	11,763	11,760	11,760	11,760	11,760	11,760	11,760

［出典：土地利用状況把握調査・滋賀県森林・林業統計要覧］

表　用地原単位※1の推移

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
人口（人）		22,526	22,404	22,525	22,400	22,256	22,074	21,842	21,697	21,479	21,493
農用地面積	農地（ha）	2,031	2,021	2,021	2,020	2,009	2,009	2,010	1,991	1,989	1,980
	採草放牧地（ha）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計（ha）	2,031	2,021	2,021	2,020	2,009	2,009	2,010	1,991	1,989	1,980
人口１人あたりの農用地面積（ha/人）		0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
森林面積（ha）		6,125	6,125	6,125	6,124	6,116	6,116	6,115	6,115	6,107	6,106
町面積（ha）		11,763	11,763	11,763	11,763	11,760	11,760	11,760	11,760	11,760	11,760
人口千人あたりの森林面積（ha/千人）		271.91	273.39	271.92	273.39	274.80	277.07	279.97	281.84	284.32	284.09
町面積に占める森林面積の割合（%）		52.1	52.1	52.1	52.1	52.0	52.0	52.0	52.0	51.9	51.9
水面・河川・水路面積（ha）		485	485	485	485	485	485	485	484	484	484
人口千人あたりの水面・河川・水路面積　（ha/千人）		21.53	21.65	21.53	21.65	21.79	21.97	22.20	22.31	22.53	22.52
町面積に占める水面・河川・水路面積の割合（%）		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
道路面積（ha）		441	441	441	445	448	454	472	472	462	462
人口千人あたりの道路面積（ha/千人）		19.58	19.68	19.58	19.87	20.13	20.57	21.61	21.75	21.51	21.50
町面積に占める道路面積の割合（%）		3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9
住宅地面積（ha）		345	347	348	348	349	351	352	353	354	355
普通世帯数（世帯）		7,585	7,638	7,828	7,859	7,904	7,914	7,965	8,080	8,139	8,349
1世帯当たりの住宅地面積（㎡/世帯）		454.85	454.31	444.56	442.80	441.55	443.52	441.93	436.88	434.94	425.20
工業用地面積（ha）		236	240	230	239	242	242	254	238	238	240
その他の宅地面積（ha）		122	118	131	123	127	126	116	132	136	136

［出典：土地利用状況把握調査、住民基本台帳］

※1　用地原単位・・人口（1人・千人等）や世帯数を用いながら、土地利用の現状等を把握する単位のこと

イ　農地転用の動向

農地移動かい廃統制実績による農地転用の状況を平成26年～令和2年までの7年間でみると、農地転用（申請案件）は令和元年の約5.4haが最大である。一方で、農地転用（町事業）は平成28年の約1.1haが最大である。7年間の平均では、農地転用（申請案件）が約3.1haで、農地転用（町事業）が約0.5haとなっている。

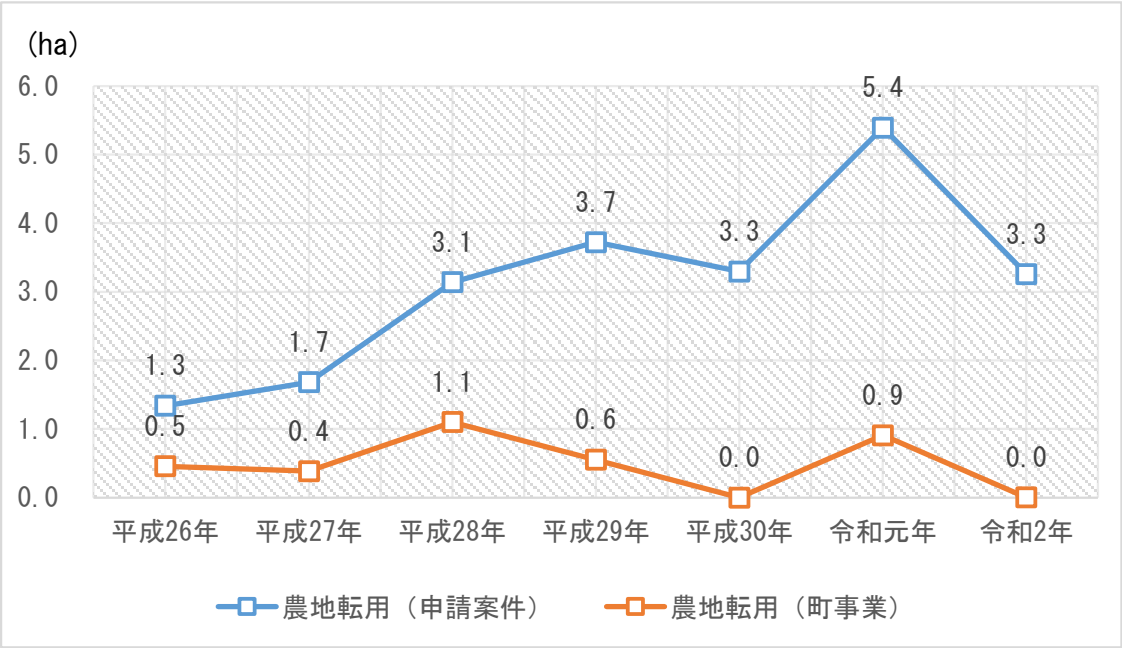


図　農地転用面積の推移

［出典：農地移動かい廃統制実績］

２．土地条件等の現状

（１）自然条件

ア　気象

気候は温暖な瀬戸内海式気候に属するが、内陸に位置するため、平均気温は15.2℃で、琵琶湖沿岸部に比べるとやや低い。年間降水量は1,300～1,600 mm 程度で、冬には降雪がみられる。

イ　地形・地質

本町の地形は山地、丘陵地が多く、琵琶湖へ日野川、佐久良川が流れ、その流域に沿って農地と町が拓けている。

海抜は中部で190m、最も高いところは綿向山山頂の1,110mで、町の東部に連なる鈴鹿の山々は「鈴鹿国定公園」に指定されていて、天然記念物「鎌掛谷のホンシャクナゲ群落」をはじめ、四季折々の豊かな自然に恵まれている。

地質は、綿向山麓が約２～３億年前に海底に堆積した地層である古生層であり、本町の大半を占める丘陵地は、古い琵琶湖に堆積した砂や泥の地層である第３紀古琵琶湖層である。日野川、佐久良川の両岸は、古琵琶湖層の上にそれぞれの川によって運ばれた土や砂が堆積してできた沖積層で形成されている。

表　主な山岳

山岳名	標高（m）	所在地
綿向山	1,110	北畑
竜王山	826	西明寺、原
宝殿ヶ岳	508	鎌掛、音羽
正法寺山	361	鎌掛
石子山	342	小野、奥師
小嶽	308	下駒月、深山口、鎌掛
丸山	270	北脇、中在寺

［出典：日野町統計書］

ウ 水系

河川は１級河川として日野川をはじめ佐久良川、出雲川等17河川が流れている。日野川は綿向山に源を発し、町の中央部よりやや南側を西流する河川であり、上流域には日野川ダム及び蔵王ダムが整備されている。また、佐久良川は竜王山に源を発し、町の北側を西流し、出雲川は町の中央部を西流する。

この他、日野川などに合流する準用河川として８河川が流れている。

表　主な河川

河川名	延長（m）	起点	種別
日野川	14,859	熊野字向山	一級河川
佐久良川	10,569	原字桑原	
出雲川	9,350	西大路字荒谷	
内池川	700	内池字播原	準用河川
黒道川	990	小御門字岨	
上人谷川	490	鳥居平字上人谷	

［出典：日野町統計書］

エ 景観

本町の景観は市街地・沿道・農村等においてそれぞれ特徴的な景観を有している。

旧市街地では近江日野商人の屋敷や桟敷窓等の歴史的建造物が町並みを形成している。しかしながら、近年これらの老朽化や空き家・空き地等の増加が問題となってきている。これらを保全し、歴史的な町並みを守る方策を検討する必要がある。また、国道 307 号の沿道は滋賀県景観計画に基づき、自然景観の保全や周辺景観に調和する景観の形成に努めている。農村部等における農地や里山等の美しい農山村風景の保全が必要である。

（2）社会的条件

ア　法規制

［都市計画区域］

本町全域は近江八幡八日市都市計画区域に含まれ、市街化区域は694.6haで全町域の5.9%を占め、町中央部の東西方向に延びる市街地一帯と北部地域の国道307号沿いの工業団地を含む範囲に指定されている。用途地域別面積割合で工業専用地域の指定が最も多く、48.8%を占めている。次いで第一種住居地域が17.4%を占めている。本町には、第二種低層住居専用地域、準住居地域、田園地域の指定はない。

市街化調整区域は、中部地域の旧市街地と市街地及び北部地域の工業団地を除く町内の全域に分布しており、94.1%を占めている。

表　用途地域別面積

区域	用途地域	面積(ha)	町全域構成比(%)	用途地域構成比(%)
市街化区域	第一種低層住居専用地域	16.2	0.1	2.3
	第二種低層住居専用地域	0.0	0.0	0.0
	第一種中高層住居専用地域	82.7	0.7	11.9
	第二種中高層住居専用地域	28.2	0.2	4.1
	第一種住居地域	120.7	1.0	17.4
	第二種住居地域	5.7	0.0	0.8
	準住居地域	0.0	0.0	0.0
	田園住居地域	0.0	0.0	0.0
	近隣商業地域	41.2	0.4	5.9
	商業地域	6.4	0.1	0.9
	準工業地域	6.6	0.1	1.0
	工業地域	48.0	0.4	6.9
	工業専用地域	338.9	2.9	48.8
	合計(A)	694.6	5.9	100.0
市街化調整区域(B)		11,065.4	94.1	
町全域(A+B)		11,760.0	100.0	

［出典：滋賀の都市計画 2019］

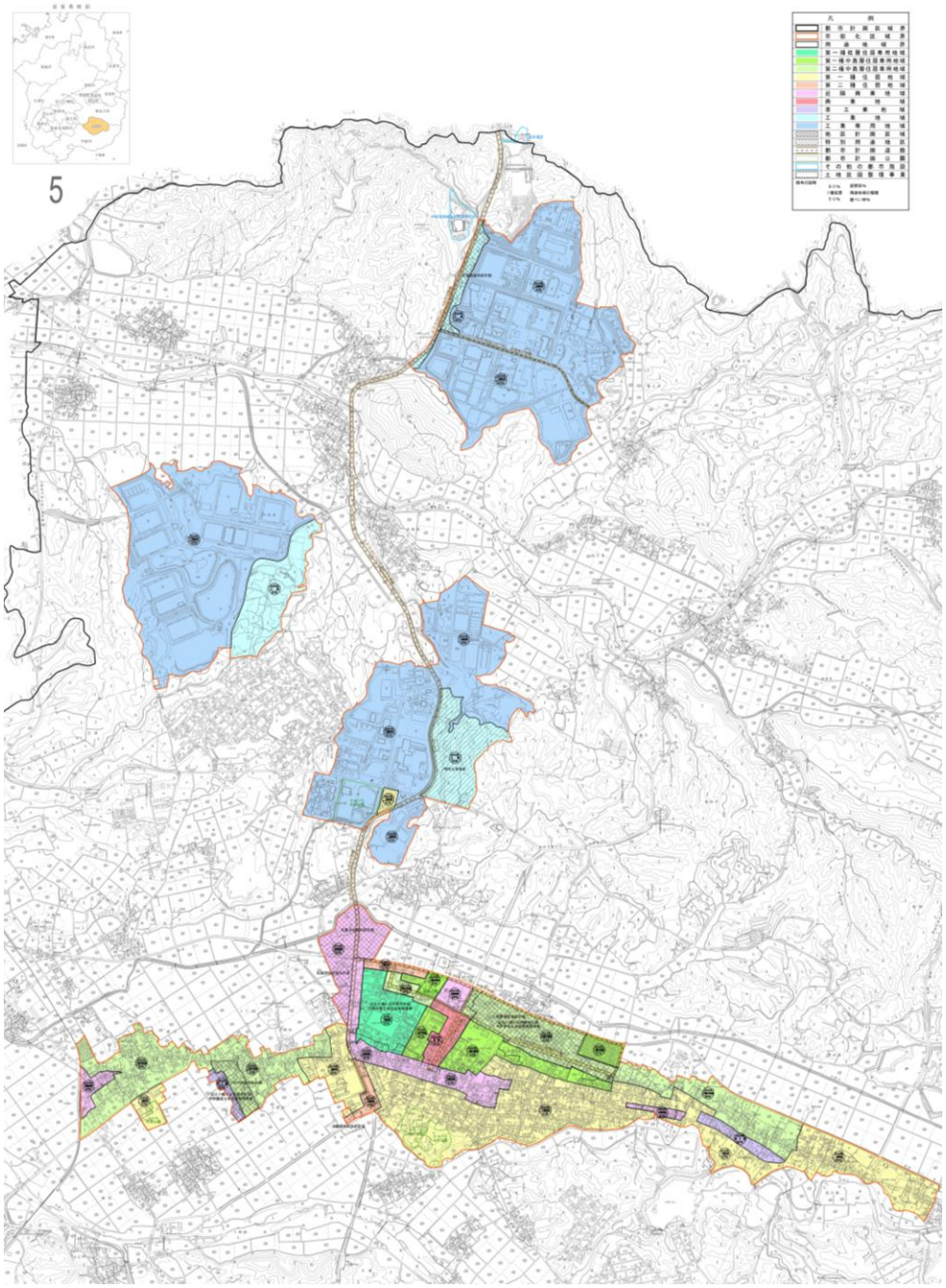


図　都市計画総括図

［出典：建設計画課］

［地区計画］

本町の地区計画は、平成8年から令和3年に8地区の地区計画が決定している。

近年の計画決定として、「北脇地区地区計画」は、県条例である「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例」に準ずる沿道景観を保つとともに、工業地域に住宅等の建築物に対して用途制限を設け、沿道サービス施設の立地を促進する地区となっている。

No	名称	地区計画面積（ha）	地区整備計画面積（ha）	計画決定（年月日）	区域
1	いせの地区地区計画	6.4	6.4	H8.4.1	市街化区域
2	松尾西地区地区計画	4.6	4.6	H11.3.31	市街化区域
3	東部地区地区計画	20.7	6.5	H11.3.31	市街化区域
4	松尾北地区地区計画	10.0	10.0	H23.5.11	市街化区域
5	北脇地区地区計画	5.9	5.9	H31.3.29	市街化区域
6	日田西地区地区計画	0.5	0.5	H31.3.29	市街化区域
7	西大路西地区地区計画	0.8	0.8	R3.6.15	市街化区域
8	内池地区地区計画	1.0	1.0	R3.10.26	市街化調整区域

［出典：滋賀の都市計画 2019、建設計画課］

［滋賀県景観計画］

滋賀県景観計画の沿道景観形成地区に国道307号が指定されている。

本町の類型別景観形成の方向性として、山地景観・田園集落景観・市街地景観に分類されている。

山地景観は、良好な樹林や山林によって形成された緑豊かな沿道景観の形成を図ることとなっている。

田園集落景観は、広がりのある田園のなかに瓦屋根の落ち着いた集落の家並みが点在し、背後の緑豊かな山並みと一体となった郷土景観の保全を図ることとなっている。

市街地景観は、地域条件等を活かした、調和と統一感のある町並みを形成し、市街地内でも緑豊かな沿道景観の形成を図ることとなっている。

［その他の法規制］

その他の主な法規制としては、農業振興地域が東部の山地及び周辺部の丘陵地を除く平地部一帯に指定されている。本町は、約3,328haが農用地区域に指定され、有効な農地利用の推進が図られている。保安林が山林一帯に指定されており、その延べ面積は約2,098haである。種類別では、土砂流出防備保安林が約1,734haで大半を占める他、水源かん養、保健、風致保安林に指定されている。この他、自然公園法に基づいて鈴鹿国定公園が東部山地一帯に指定されており、自然環境の保護と活用が図られている。この中で、鎌掛谷のシャクナゲ群落が生育する貴重な自然環境を中心に特別保護地区として19haが指定されている。

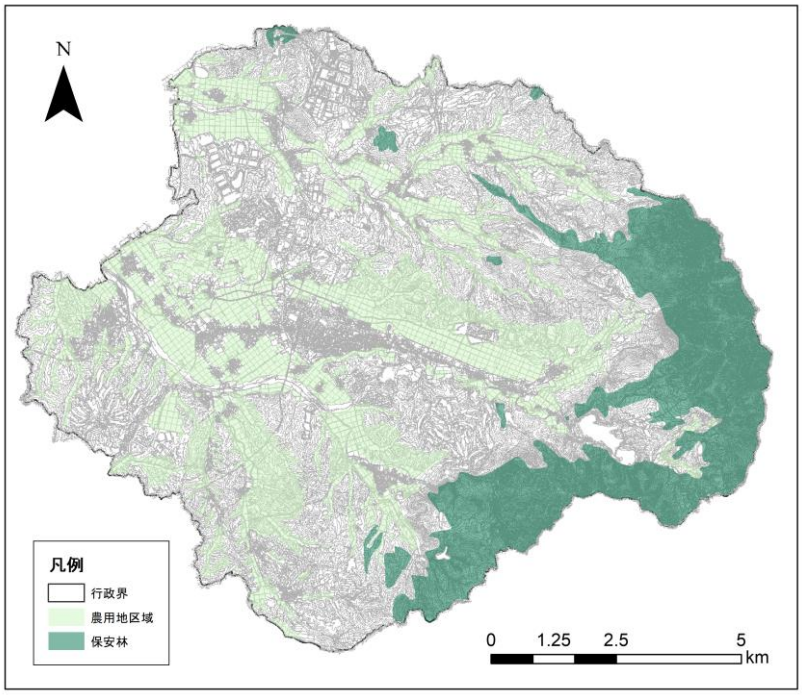


図　農用地区域・保安林

［出典：国土数値情報］

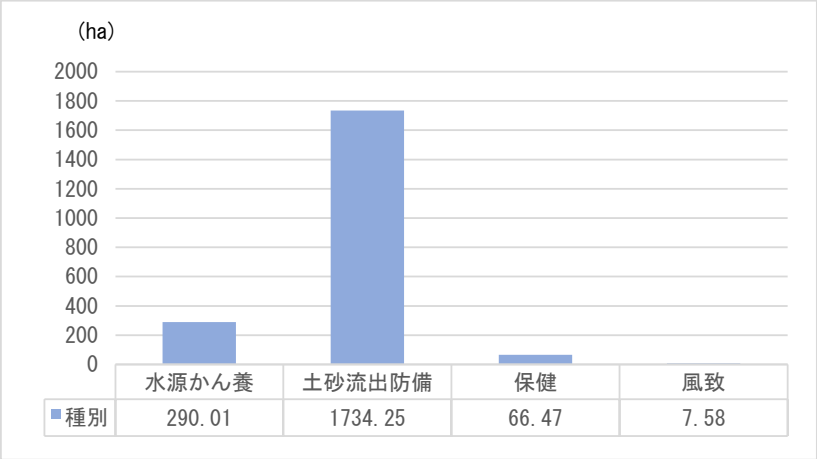


図　保安林種別面積

［出典：滋賀県森林・林業統計要覧（令和２年度）］

表　国定公園の区分別面積

国定公園			
特別保護地区 (ha)	第 1 種特別 地域 (ha)	第 2 種特別 地域 (ha)	第 3 種特別 地域 (ha)
19	78	50	1,072

［出典：滋賀県森林・林業統計要覧（令和 2 年度）］

イ　地価

滋賀県地価調査の公表資料による地価の推移を平成29年～令和3年までの5年間でみると、本町の地価は、表に示すような数値で推移している。全般的に下落傾向にあり、５年間の減少率は、1%～13%となっている。

表　地価の推移

基準地番号	基準地の所在及び地番ならびに住居表示	基準地の地積（㎡）	基準地の 1 ㎡当たりの価格（円）					基準地に係る都市計画等の制限で主要なもの
			平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	
滋賀県日野(県)-1	日野町大字村井字北中町 1309 番	375	20,500	20,100	19,600	19,000	18,400	第一種住居地域 (建ぺい率:60 容積率:200)
滋賀県日野(県)-2	松尾 2 丁目 21 番	350	36,400	36,300	36,200	36,100	36,100	第一種低層住居専用地域 (建ぺい率:50 容積率:80)
滋賀県日野(県)-3	大字西大路字殿町 2133 番	357	16,700	16,200	16,000			準工業地域 (建ぺい率:60 容積率:200)
	大字西大路字殿町 1447 番	565				15,700	15,300	第二種中高層住居専用地域 (建ぺい率:60 容積率:200)
滋賀県日野(県)-4	大字河原字小中井 400 番地	452	15,700	15,200	14,800	14,400	14,000	市街化調整区域 (建ぺい率:70 容積率:200)
滋賀県日野(県)-5	大字迫字久保 2111 番外	536	10,900	10,700	10,300	9,900	9,500	市街化調整区域 (建ぺい率:70 容積率:200)
滋賀県日野(県)-6	大字杣字門脇 686 番2外	475	10,200	10,000	9,800	9,500	9,200	市街化調整区域 (建ぺい率:70 容積率:200)
滋賀県日野(県)5-1	松尾 2 丁目 15 番外	1,098	47,100	46,500	46,500	46,400	46,300	商業地域 (建ぺい率:80 容積率:400)

［出典：滋賀県地価調査］

（3）歴史文化的条件

ア　歴史・文化

【日野町の歴史】

その昔、日野町域は「遺匱迮（ヒサノ）」「檜物庄（ヒモノノショウ）」と呼ばれ、また「日野牧」が設置されたことが町名の由来と伝えられている。天智天皇の時代には、蒲生郡に百済国（現韓国）から多くの人が渡来している。その中心的人物である「鬼室集斯」を祀る鬼室神社が大字小野にある。

鎌倉時代から戦国時代にかけては蒲生氏によって支配されたと考えられており、蒲生定秀が中野城（日野城）を築き、天文年間（1532年～1554年）初頭に町割をしたものが現在の日野町の中心地の基盤となったと伝わる。その孫にあたる氏郷は、織田信長のもと、多くの戦いで活躍し、信長の息女と結婚する。その後の豊臣秀吉の時代には、伊勢松ヶ島（現三重県松阪市）へ、そして会津黒川（現福島県会津若松市）へと転封、徳川家康や毛利輝元と肩を並べるほどの大名となる。蒲生氏が日野を去った後、江戸時代になると人々は特産の日野椀や薬の行商をしながら全国へ進出し、以後、日野商人の名で知られるようになる。現在も昔ながらの町並みがその面影を残している。また、現在日野の特産品となっている日野菜は、蒲生氏により中世に発見されたと伝えられている。

明治維新を迎え、廃藩置県を経て町域は大津県に属した。明治 22 年に、日野町と桜谷村・西大路村・北比都佐村・南比都佐村・鎌掛村の１町５ヶ村が成立。同27年に桜谷村は東西に分立した。昭和30年３月、これらの１町６ヶ村が合併し、現在の日野町が誕生した。

【歴史資源と天然記念物】

都市計画法に基づく都市計画基礎調査においては、歴史資源等が 154 箇所となっている。特に、埋蔵文化財包蔵地（遺跡など）が多く指定されている。

表　歴史資源と天然記念物の一覧

No	名称	種別
1	中山北遺跡	埋蔵文化財包蔵地
2	金折山窯跡	埋蔵文化財包蔵地
3	作谷窯跡	埋蔵文化財包蔵地
4	金光院遺跡	埋蔵文化財包蔵地
5	内街道遺跡	埋蔵文化財包蔵地
6	梶田窯跡	埋蔵文化財包蔵地
7	金剛定寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
8	壺焼谷窯跡	埋蔵文化財包蔵地
9	北脇西窯跡	埋蔵文化財包蔵地
10	奥池窯跡	埋蔵文化財包蔵地
11	瀬戸山窯跡	埋蔵文化財包蔵地
12	桜内城跡	埋蔵文化財包蔵地
13	北脇窯跡	埋蔵文化財包蔵地
14	堀越遺跡	埋蔵文化財包蔵地
15	寺谷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
16	畑太遺跡	埋蔵文化財包蔵地
17	大澤遺跡	埋蔵文化財包蔵地
18	小山代遺跡	埋蔵文化財包蔵地
19	下屋敷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
20	西芳寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
21	里中遺跡	埋蔵文化財包蔵地
22	雁谷窯跡	埋蔵文化財包蔵地
23	中ノ平遺跡	埋蔵文化財包蔵地
24	山畑遺跡	埋蔵文化財包蔵地
25	宮ノ前遺跡	埋蔵文化財包蔵地
26	野瀬遺跡	埋蔵文化財包蔵地
27	小谷古墳	埋蔵文化財包蔵地
28	里裏遺跡	埋蔵文化財包蔵地
29	田寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
30	下森遺跡	埋蔵文化財包蔵地
31	山之添遺跡	埋蔵文化財包蔵地
32	小谷城跡	埋蔵文化財包蔵地
33	口山西遺跡	埋蔵文化財包蔵地
34	口山遺跡	埋蔵文化財包蔵地
35	口山東遺跡	埋蔵文化財包蔵地
36	野神平遺跡	埋蔵文化財包蔵地
37	山大遺跡	埋蔵文化財包蔵地
38	焼山遺跡	埋蔵文化財包蔵地
39	小御門古墳群	埋蔵文化財包蔵地
40	小御門中世墳墓群	埋蔵文化財包蔵地
41	野辺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
42	堂立遺跡	埋蔵文化財包蔵地
43	播沢遺跡	埋蔵文化財包蔵地
44	猫田遺跡	埋蔵文化財包蔵地
45	下司坊遺跡	埋蔵文化財包蔵地
46	樋之口遺跡	埋蔵文化財包蔵地
47	狐塚遺跡	埋蔵文化財包蔵地
48	森西城跡	埋蔵文化財包蔵地
49	古堂遺跡	埋蔵文化財包蔵地
50	岡屋敷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
51	日枝社古墳	埋蔵文化財包蔵地
52	十禅師遺跡	埋蔵文化財包蔵地
53	野田代遺跡	埋蔵文化財包蔵地
54	小御門城跡	埋蔵文化財包蔵地
55	内池遺跡	埋蔵文化財包蔵地
56	北代遺跡	埋蔵文化財包蔵地
57	上野田館遺跡	埋蔵文化財包蔵地
58	上代遺跡	埋蔵文化財包蔵地
59	西出遺跡	埋蔵文化財包蔵地
60	月ヶ岡遺跡	埋蔵文化財包蔵地
61	堀切遺跡	埋蔵文化財包蔵地
62	大谷窯跡	埋蔵文化財包蔵地
63	稲荷山遺跡	埋蔵文化財包蔵地
64	大谷古墓	埋蔵文化財包蔵地
65	烏ケ巣遺跡	埋蔵文化財包蔵地
66	御霊谷西遺跡	埋蔵文化財包蔵地
67	正明寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
68	松尾寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
69	五斗左遺跡	埋蔵文化財包蔵地
70	松尾遺跡	埋蔵文化財包蔵地
71	浄土寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
72	野田道遺跡	埋蔵文化財包蔵地
73	徳谷窯跡	埋蔵文化財包蔵地
74	上江遺跡	埋蔵文化財包蔵地
75	クルヘキ遺跡	埋蔵文化財包蔵地
76	森添窯跡	埋蔵文化財包蔵地
77	佐久良城跡	埋蔵文化財包蔵地
78	城山古墳群	埋蔵文化財包蔵地
79	池殿屋敷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
80	長寸城跡	埋蔵文化財包蔵地
81	寺倉氏館遺跡	埋蔵文化財包蔵地
82	寺井遺跡	埋蔵文化財包蔵地
83	中島遺跡	埋蔵文化財包蔵地
84	古枝遺跡	埋蔵文化財包蔵地
85	前山遺跡	埋蔵文化財包蔵地
86	鳥居平城跡	埋蔵文化財包蔵地
87	善通教寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
88	銭堀山遺跡	埋蔵文化財包蔵地
89	大道遺跡	埋蔵文化財包蔵地
90	杉杣寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
91	園城跡	埋蔵文化財包蔵地
92	万徳寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
93	四ツ谷城跡	埋蔵文化財包蔵地
94	石子山遺跡	埋蔵文化財包蔵地
95	安楽寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
96	西明寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
97	蓮台遺跡	埋蔵文化財包蔵地
98	五斗井遺跡	埋蔵文化財包蔵地
99	野間遺跡	埋蔵文化財包蔵地
100	風呂流遺跡	埋蔵文化財包蔵地
101	馬見分遺跡	埋蔵文化財包蔵地
102	中野城跡	埋蔵文化財包蔵地
103	西中道遺跡	埋蔵文化財包蔵地
104	太田氏館遺跡	埋蔵文化財包蔵地
105	宮ノ後遺跡	埋蔵文化財包蔵地
106	中甲津遺跡	埋蔵文化財包蔵地
107	薬王寺溜遺跡	埋蔵文化財包蔵地
108	薬王寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
109	東裏遺跡	埋蔵文化財包蔵地
110	蔵人屋敷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
111	七ノ坪遺跡	埋蔵文化財包蔵地
112	澤遺跡	埋蔵文化財包蔵地
113	綿向山麓の接触変質地帯	天然記念物
114	別所高師小僧	天然記念物
115	成願寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
116	別所窯跡	埋蔵文化財包蔵地
117	下久保窯跡	埋蔵文化財包蔵地
118	下久保北遺跡	埋蔵文化財包蔵地
119	下迫城跡	埋蔵文化財包蔵地
120	下迫城遺跡	埋蔵文化財包蔵地
121	清田遺跡	埋蔵文化財包蔵地
122	大平遺跡	埋蔵文化財包蔵地
123	口戸北遺跡	埋蔵文化財包蔵地
124	清田城跡	埋蔵文化財包蔵地
125	口戸南遺跡	埋蔵文化財包蔵地
126	清水前遺跡	埋蔵文化財包蔵地
127	松本遺跡	埋蔵文化財包蔵地
128	田串谷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
129	上迫城跡	埋蔵文化財包蔵地
130	西ノ前遺跡	埋蔵文化財包蔵地
131	大田和窯跡	埋蔵文化財包蔵地
132	下駒月遺跡	埋蔵文化財包蔵地
133	朝日寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
134	小嶽寺遺跡	埋蔵文化財包蔵地
135	久保遺跡	埋蔵文化財包蔵地
136	塗瀬遺跡	埋蔵文化財包蔵地
137	墓ノ谷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
138	長野遺跡	埋蔵文化財包蔵地
139	山屋敷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
140	鎌掛の屏風岩	天然記念物
141	鎌掛城跡	埋蔵文化財包蔵地
142	玉塚古墳群	埋蔵文化財包蔵地
143	音羽城跡	埋蔵文化財包蔵地
144	家老屋敷遺跡	埋蔵文化財包蔵地
145	音羽氏館遺跡	埋蔵文化財包蔵地
146	音羽東古墳	埋蔵文化財包蔵地
147	蔵王山遺跡	埋蔵文化財包蔵地
148	鎌掛谷ホンシャクナゲ群落	天然記念物
149	ゴマ畑遺跡	埋蔵文化財包蔵地
150	熊野のヒダリマキガヤ	天然記念物
151	正楽庵遺跡	埋蔵文化財包蔵地
152	番場遺跡	埋蔵文化財包蔵地
153	音羽西古墳	埋蔵文化財包蔵地
154	下久保南遺跡	埋蔵文化財包蔵地

［出典：都市計画基礎調査］

３．社会・経済の現状

（１）人口･世帯数

ア　人口の推移

令和2年現在の本町の人口は 20,964 人（国勢調査）である。

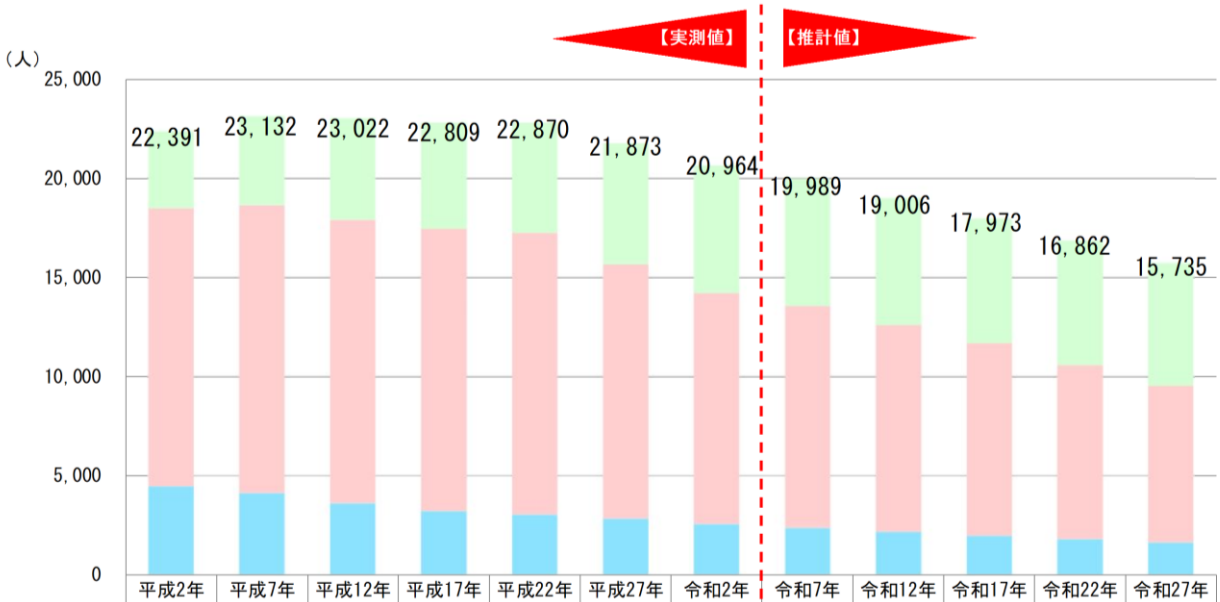
また、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、今後も人口減少が続き、令和27年には令和2年における人口の75%と予測されている。

令和 27 年の 15 歳未満（年少人口）及び 15 歳～64 歳（生産年齢人口）は、令和 2 年における人口の 67%と予測されている。

令和 27 年の 65 歳以上（老年人口）は、令和 2 年の人口よりも微減になると予測されている。

65 歳以上の高齢者の割合（高齢化率）においては、令和 27 年には 39%になると予測されている。

少子高齢化社会を迎える中で、安定的な税収の確保により町の発展を図る基礎として、また町の活力や各種の後継者の確保を図る上においても、人口維持と交流及び関係人口の増加が強く求められる。



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
65歳以上	3,872	4,479	5,095	5,332	5,553	6,088	6,424	6,406	6,387	6,271	6,263	6,163
15～64歳	14,036	14,518	14,311	14,262	14,217	12,840	11,656	11,209	10,442	9,727	8,796	7,937
15歳未満	4,472	4,135	3,613	3,215	3,043	2,835	2,575	2,374	2,177	1,975	1,803	1,635
人口（年齢不詳を含む）	22,391	23,132	23,022	22,809	22,870	21,873	20,964	19,989	19,006	17,973	16,862	15,735

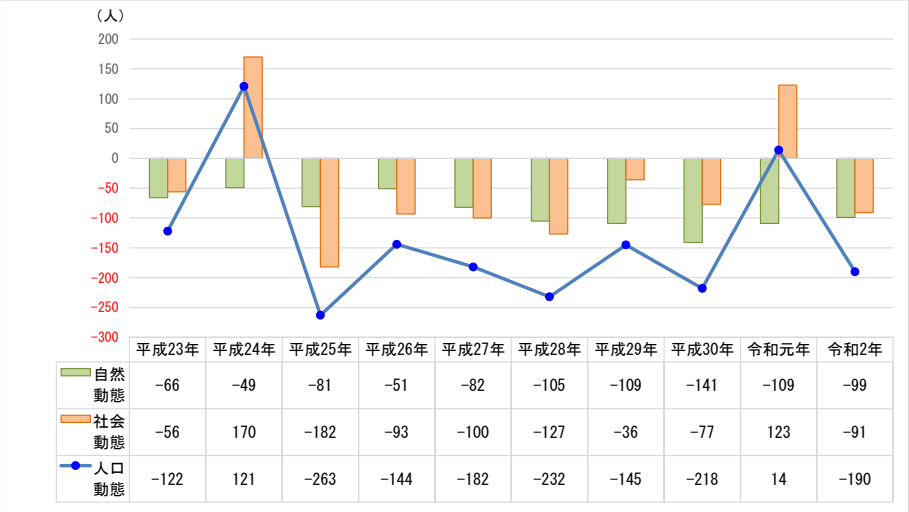
図　人口の推移

［出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所］

イ　人口動態の推移

本町の人口動態としては、減少傾向となっているが、平成 24 年及び令和元年において、社会動態※2 が増加している年もある。

自然動態※3 は、直近 10 年間において、一貫して減少しており、今後も減少傾向となることが予想される。



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
自然動態	-66	-49	-81	-51	-82	-105	-109	-141	-109	-99
社会動態	-56	170	-182	-93	-100	-127	-36	-77	123	-91
人口動態	-122	121	-263	-144	-182	-232	-145	-218	14	-190

図　人口動態の推移

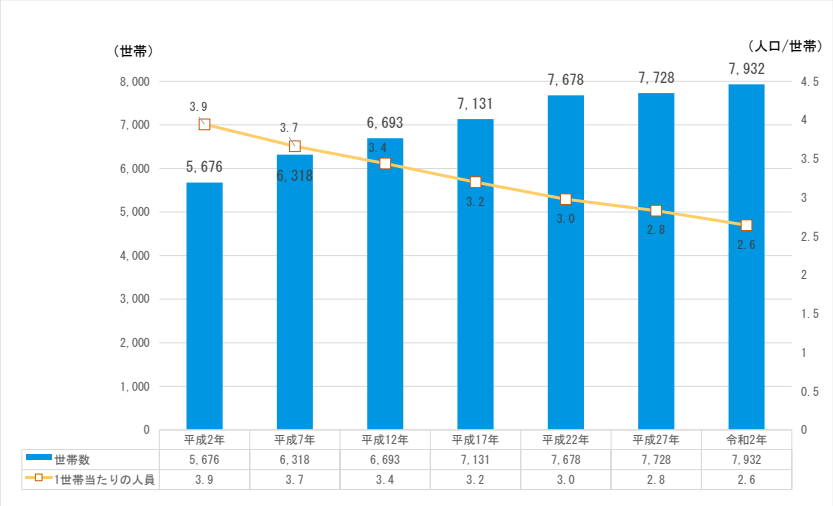
［出典：住民基本台帳］

※2　社会動態・・転入・転出に伴う人口の動き
※3　自然動態・・出生・死亡に伴う人口の動き

ウ　世帯数の推移

令和2年現在、本町の世帯数は7,932世帯（国勢調査）である。

世帯数は増加傾向にあるが、１世帯当たりの人員は減少傾向にある。



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
世帯数	5,676	6,318	6,693	7,131	7,678	7,728	7,932
1世帯当たりの人員	3.9	3.7	3.4	3.2	3.0	2.8	2.6

図　世帯数及び１世帯当たりの人員推移

［出典：国勢調査］

（2）産業

ア　産業構造

本町の平成27年時点の産業構造は第3次産業が最も多く50.3%、次いで第2次産業が41.3%である。

産業構造の推移をみると、平成22年と平成27年では、第1次産業が0.1%減少、第2次産業も1.4%減少、一方で、第3次産業は2.2%増加している。

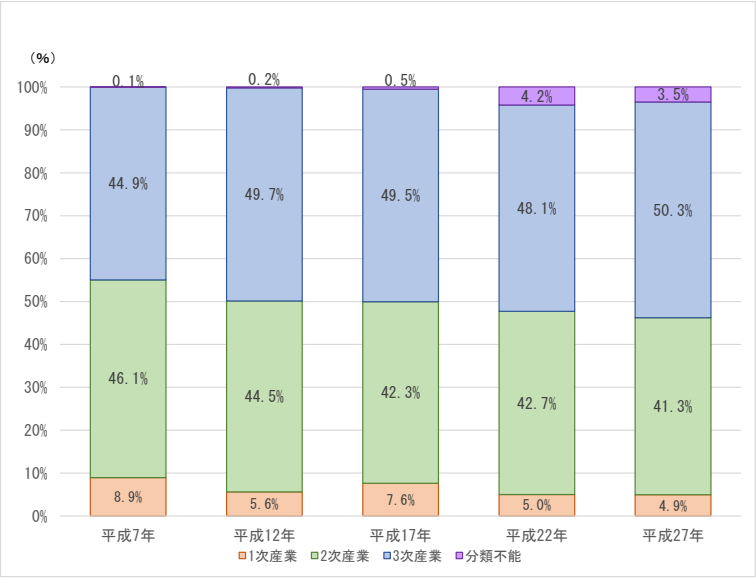


図　産業構造の推移

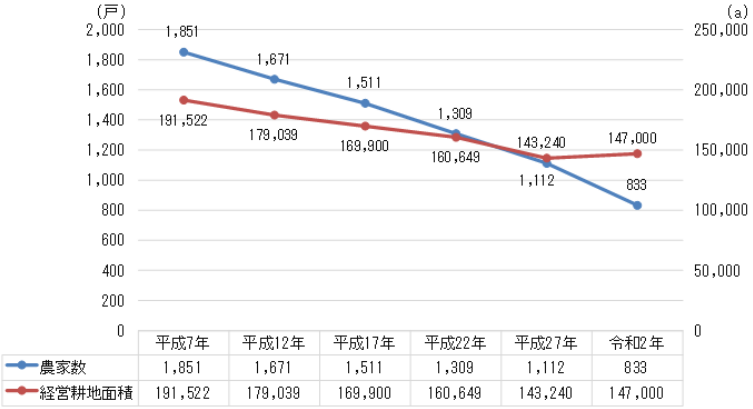
［出典：国勢調査］

イ　農家及び経営耕地面積

本町の農家数の推移をみると、平成27年と令和2年では279戸減少している。平成7年から年々減少していることから、この傾向は今後も続くと考えられる。

経営耕地面積の推移をみると、平成27年と令和2年では3,760a増加している。

農家数が減少しているのに対して、経営耕地面積が増加しているのは、経営農地の集約化が進んでいると考えられる。



	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農家数	1,851	1,671	1,511	1,309	1,112	833
経営耕地面積	191,522	179,039	169,900	160,649	143,240	147,000

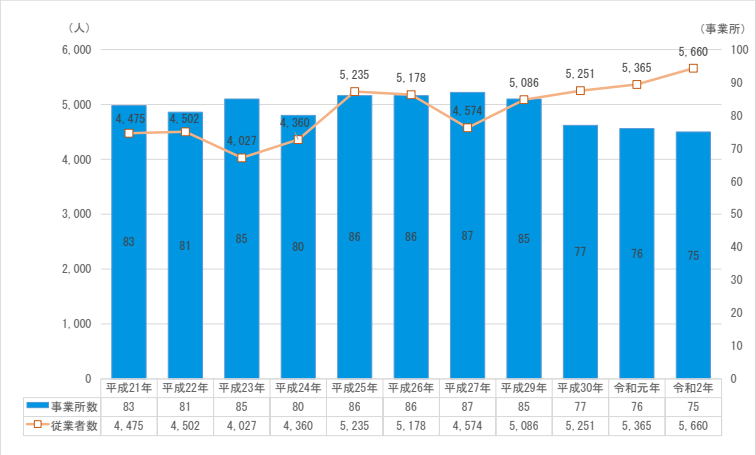
図　農家数と経営耕地面積の推移

［出典：農林業センサス］

ウ　工業

令和2年現在、本町の工業面における事業所数は75事業所、従業者数は5,660人、製造品出荷額等は3,509億8246万円である。

従業者数は緩やかに増加していることから、本町は就業地としての役割を担っていると考えられる。



	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
事業所数	83	81	85	80	86	86	87	85	77	76	75
従業者数	4,475	4,502	4,027	4,360	5,235	5,178	4,574	5,086	5,251	5,365	5,660

図　事業所数と従業者数の推移【工業】

［出典：工業統計、経済センサス］

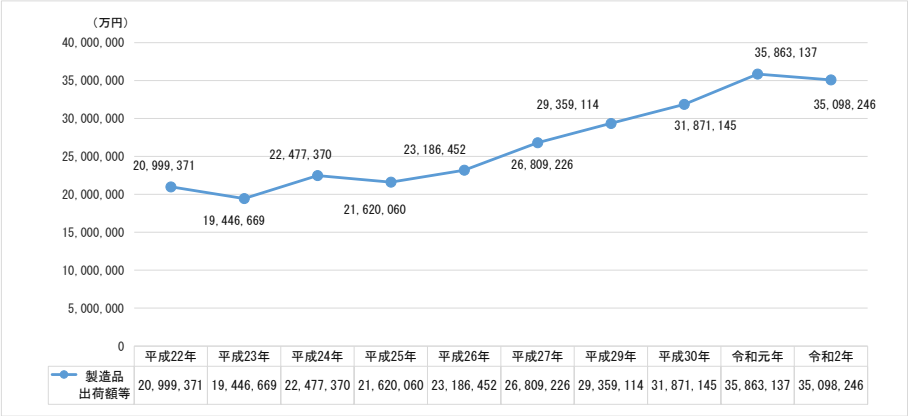


図　製造品出荷額等の推移

［出典：工業統計、経済センサス］

エ　商業

平成28年現在、本町の商業面における事業所数は148事業所、従業者数は1,008人、小売販売額は150億6,600万円、小売業売り場面積は18,228㎡である。

小売販売額は平成11年の173億9,400万円を境に減少傾向が続き、平成26年には、107億8,100万円となったが、平成28年には150億6,600万円となり、増加に転じている。近年、大型店や各種チェーン店の進出、利便性の高いコンビニエンスストアの多店舗展開の影響により、小売販売額及び小売業売り場面積が増加に転じたと考えられる。

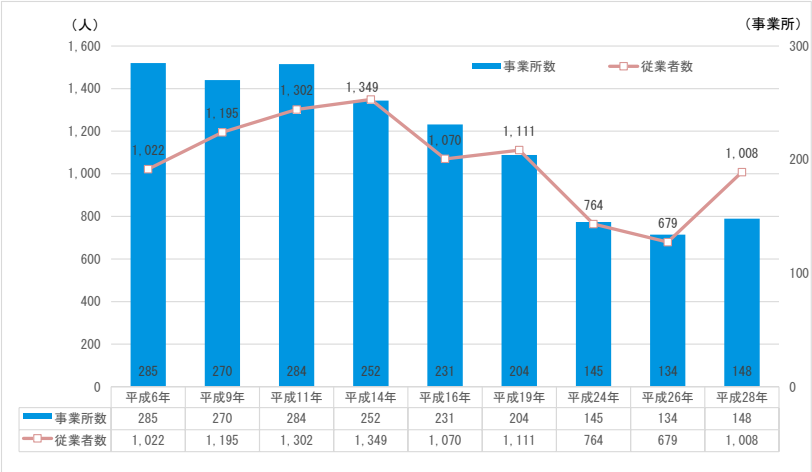
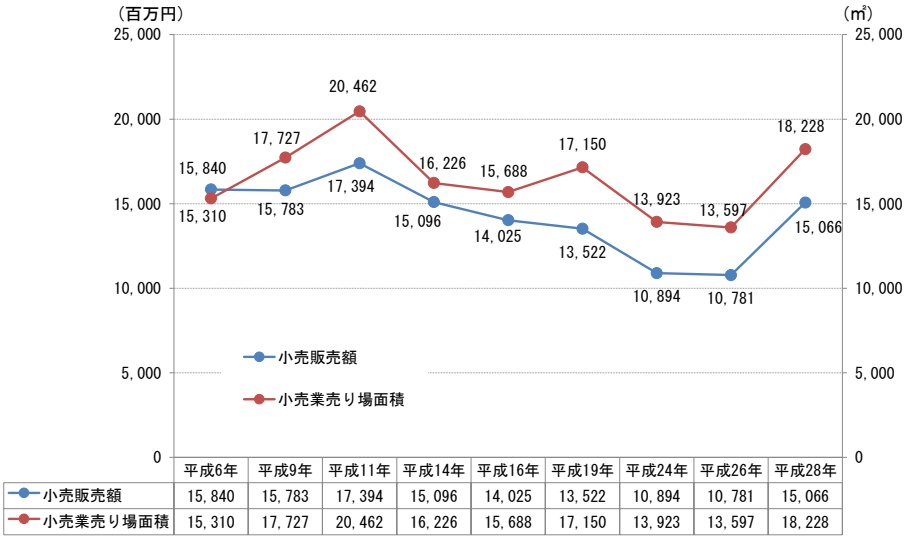


図　事業所数と従業者数の推移【商業】

［出典：商業統計、経済センサス］



	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年	平成26年	平成28年
小売販売額	15,840	15,783	17,394	15,096	14,025	13,522	10,894	10,781	15,066
小売業売り場面積	15,310	17,727	20,462	16,226	15,688	17,150	13,923	13,597	18,228

図　小売販売額と小売業売り場面積

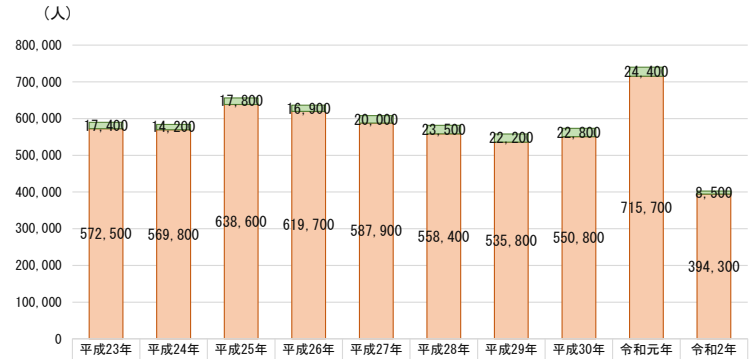
［出典：商業統計、経済センサス］

オ　観光

本町は観光資源として、豊かな自然環境と神社仏閣・文化財などの歴史遺産が多くある。また、これまでの施設型観光資源である３箇所のゴルフ場に加え、滋賀農業公園「ブルーメの丘」やコテージ＆オートキャンプ場「グリム冒険の森」、花の郷「日野ダリア園」、「近江日野商人館」、「近江日野商人ふるさと館」などが整備され、県内でも充実した観光地となっている。

本町の宿泊及び日帰りの観光客数は、増減を繰り返しているが、令和元年には宿泊客数が24,400人、日帰り客数が715,700人と直近の10年間で最大となった。しかし、令和2年は新型コロナウイルスの影響により直近10年間で最も少なくなった。

宿泊客数は、日帰り客数に比べて、非常に少ない傾向となっている。



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
宿泊客	17,400	14,200	17,800	16,900	20,000	23,500	22,200	22,800	24,400	8,500
日帰り客	572,500	569,800	638,600	619,700	587,900	558,400	535,800	550,800	715,700	394,300

図　宿泊客と日帰り客の推移

［出典：滋賀県観光入込客統計調査］

（3）道路･公共交通体系

ア　道路

本町の主要道路は国道307号、国道477号、日野東部広域農道、その他主要地方道路、県道、町道により構成されている。今後は、名神高速道路及び新名神高速道路へのアクセス道路（名神名阪連絡道路、主要地方道土山蒲生近江八幡線〈頓宮鎌掛ルート〉等）の整備が必要である。また、歩行者や自転車交通等に配慮しながら、道路の安全性・快適性や周辺環境の保全等に十分配慮するとともに、沿道土地利用の計画的な誘導を考慮する。なお、町内の主要な生活道路については、各地域から本町中心部へのアクセスの確保・充実を図るほか、ひとにやさしい道路づくりが必要である。

本町の行政区域内の都市計画道路の整備状況として、町が都市計画決定したものについては、改良済もしくは概成済となっているが、滋賀県が都市計画決定した八日市日野線については、ほとんどが未整備である。

表　都市計画道路

種別	路線名		計画決定			整備延長			整備率		
	路線番号	名称	延長	幅員	年月日	改良済	概成済	合計	改良済	概成済	合計
			(m)	(m)		(m)	(m)	(m)	(%)	(%)	(%)
幹線街路	3.5.801	日野中央線	2,040	14	S53.2.15	1,570	430	2,000	77	21.1	98.1
	3.3.3	八日市日野線	10,500	22	S53.2.15	490	170	660	6.8	2.4	9.2
	3.4.12	松尾村井線	1,710	18	S53.2.15	1,710	0	1,710	100	0	100
	3.4.13	日野松尾線	590	18	S53.2.15	590	0	590	100	0	100
	3.5.802	北脇奥之池線	1,140	12	S53.2.15	0	1,140	1,140	0	100	100

［出典：滋賀の都市計画 2019、都市計画基礎調査］

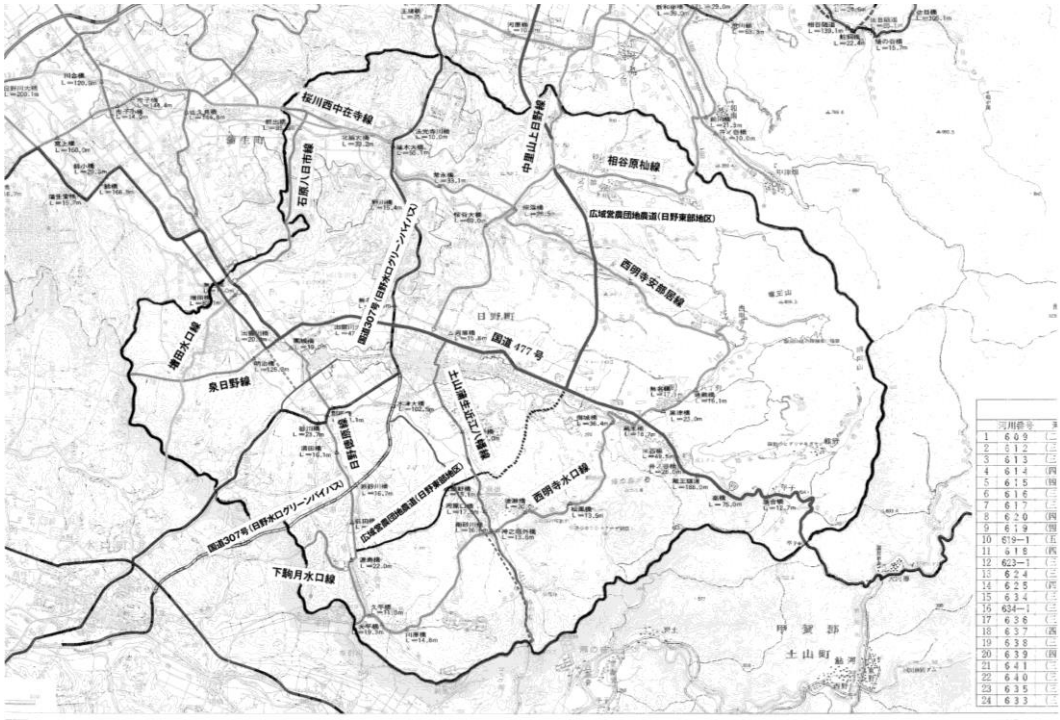


図　道路地図

［出典：建設計画課］

イ　公共交通

本町の主要な公共交通機関として、近江鉄道、近江鉄道バス、コミュニティバス（町営バス）がある。

本町は広範な地域に集落が点在していることや道路整備状況の現状から、町営バスに加えてバスの通らない集落についてはデマンド交通の試行に取り組んでいる。

また、町の玄関口になることが期待される近江鉄道日野駅は、中心市街地から約２km離れているため、その機能を十分発揮できていない現状にある。

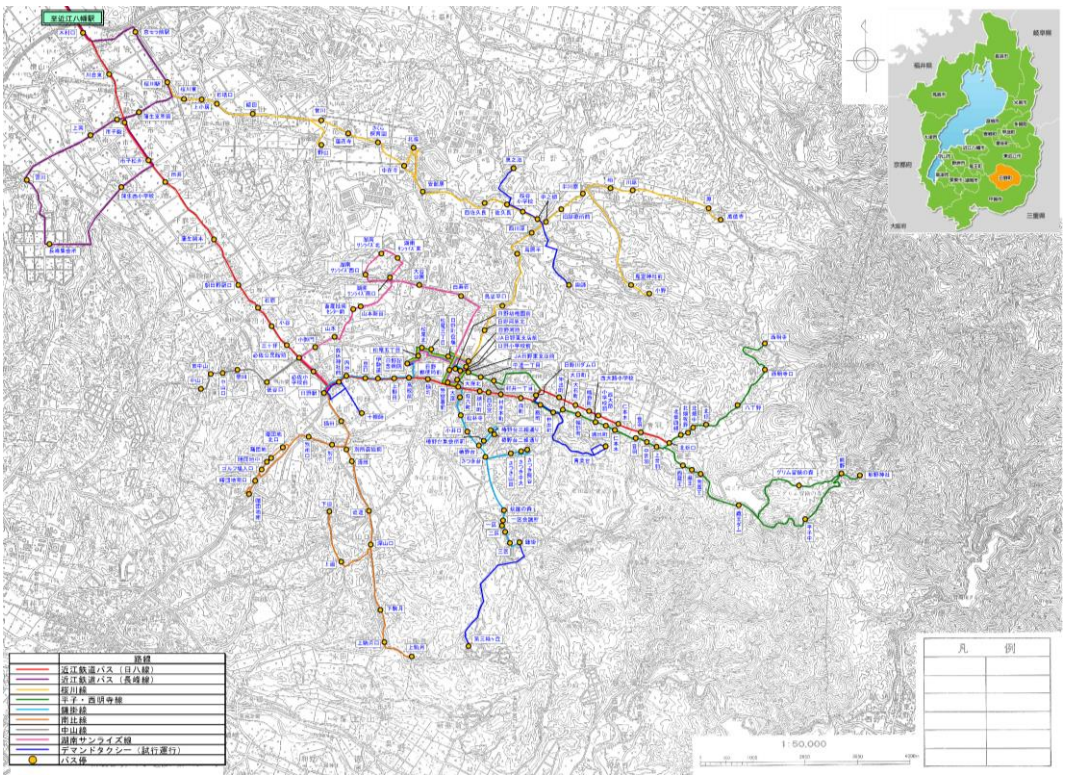


図　バス等路線図

［出典：日野町ホームページ］

（4）生活環境

ア　住宅

建設から 30 年以上経過している公営住宅があり、今後、計画的な建替えや維持・補修が必要である。また、入居者の高齢化が進行しているため、施設のバリアフリー化も併せて検討していく必要がある。

土地区画整理事業により整備された新市街地では、住宅建築が増加している。

旧市街地では、町屋、商家などの伝統的建物が住居として利用されているが、老朽化と空き家化が課題となっている。

イ　公園・緑地

令和元年現在、本町の都市計画公園である近隣公園は 16.6ha が都市計画決定しており、その内 10.4ha が整備されている。

また、近隣公園の誘致距離は 500m であり、本町の総人口に対する充足率は 28.6%である。

自然公園については、本町は鈴鹿国定公園の一部であり、特別保護地区として 19 ha が指定されている。

また、特別地域として第 1 種が 78 ha、第 2 種が 50ha、第 3 種が 1,072ha、計 1,200ha が指定されている。

表　都市計画公園整備状況

種別	公園名		位置	計画決定		整備率	充足率
	番号	名称		面積 (ha)	年月日	（%）	（%）
近隣公園	3.3.6	内池公園	日野町大字内池	1.7	S52.3.28	94.1	28.6
	3.3.7	松尾公園	日野町大字松尾	1.7	S52.3.28	94.1	
	3.4.13	大谷公園	日野町大字大谷	7.4	S52.3.28	97.3	
	3.4.14	山王公園	日野町大字大窪、大字日田、大字木津	5.8	S52.3.28	－	

［出典：滋賀の都市計画 2019、都市計画基礎調査、国勢調査］

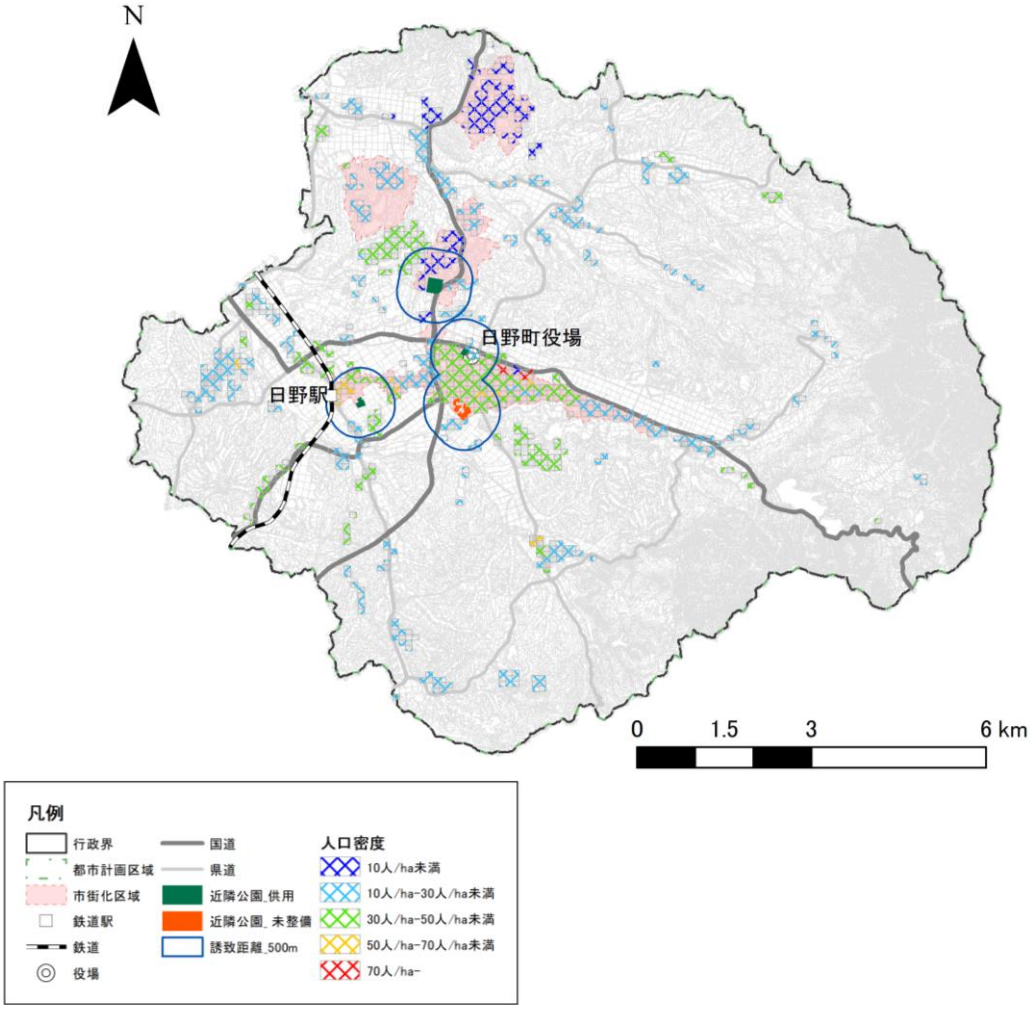


図　都市計画公園の充足率

［出典：都市計画基礎調査、国勢調査］

ウ　上・下水道

本町の上水道は琵琶湖を取水源とする湖南水道用水供給事業に加わり、安定的な供給を行っている。

下水道に関しては、本町は、大津市、草津市をはじめとする９市２町を対象地域としている琵琶湖流域下水道湖南中部処理区に含まれる。

本町の処理区域の令和２年度における普及率は、公共下水道・特定環境保全公共下水道の普及率（78.2%）、農業集落排水（農村下水道）の普及率（20.4%）の合計値である 98.6%となっている。

表　下水道整備の状況【公共下水道・特定環境保全公共下水道】

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
処理区域内	人口(人)	16,748	16,632	16,631	16,665	16,564
	普及率(%)	77.0	77.0	77.6	77.8	78.2

［出典：上下水道課］

表　公共下水道・特定環境保全公共下水道事業地区一覧

上野田、内池、里口、増田、石原、小谷、三十坪、小御門、松尾、大窪、日田、山本、村井、河原、西大路、猫田、十禅師、野出、蓮花寺、湖南サンライズ、木津、仁本木、音羽、大谷、北畑、寺尻、小井口、豊田、出雲の里、徳谷、中山東、中山西、曙、椿野台、五月台

［出典：日野町下水道事業　経営戦略］

表　下水道整備の状況【農村下水道】

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度
処理区域内	人口(人)	4,611	4,543	4,426	4,385	4,314
	普及率(%)	21.2	21.1	20.7	20.5	20.4

［出典：上下水道課］

表　農業集落排水（農村下水道）事業地区一覧

上迫、下迫、清田、別所、上駒月、下駒月、深山口、鎌掛、蔵王、杉、川原、杣、佐久良、奥之池、中之郷、鳥居平、奥師、小野、安部居、中在寺、北脇、原

［出典：日野町下水道事業　経営戦略］

表　浄化槽設置整備事業地区一覧

熊野、平子、西明寺、青葉台、第三緑ヶ丘

［出典：日野町下水道事業　経営戦略］

４．土地利用の計画

（１）土地利用の転換

土地利用の現状や各種計画等の土地の変化に関する調査に基づき、利用区分別の土地面積を予測し、将来的な目標を定める。

土地利用現況図及び土地利用構想図は、次に示すとおりである。

（２）土地利用現況図と土地利用構想図

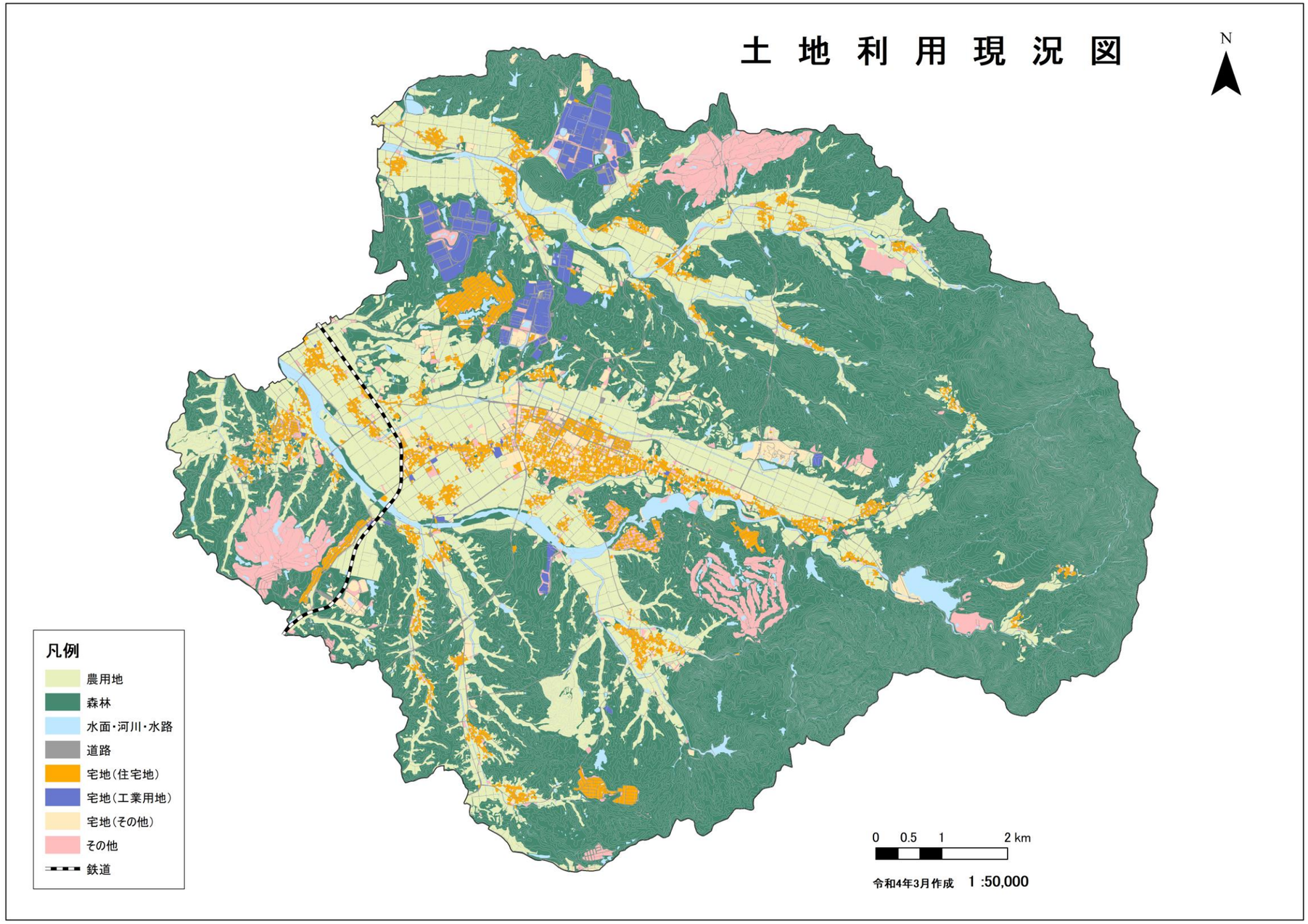


図　土地利用現況図

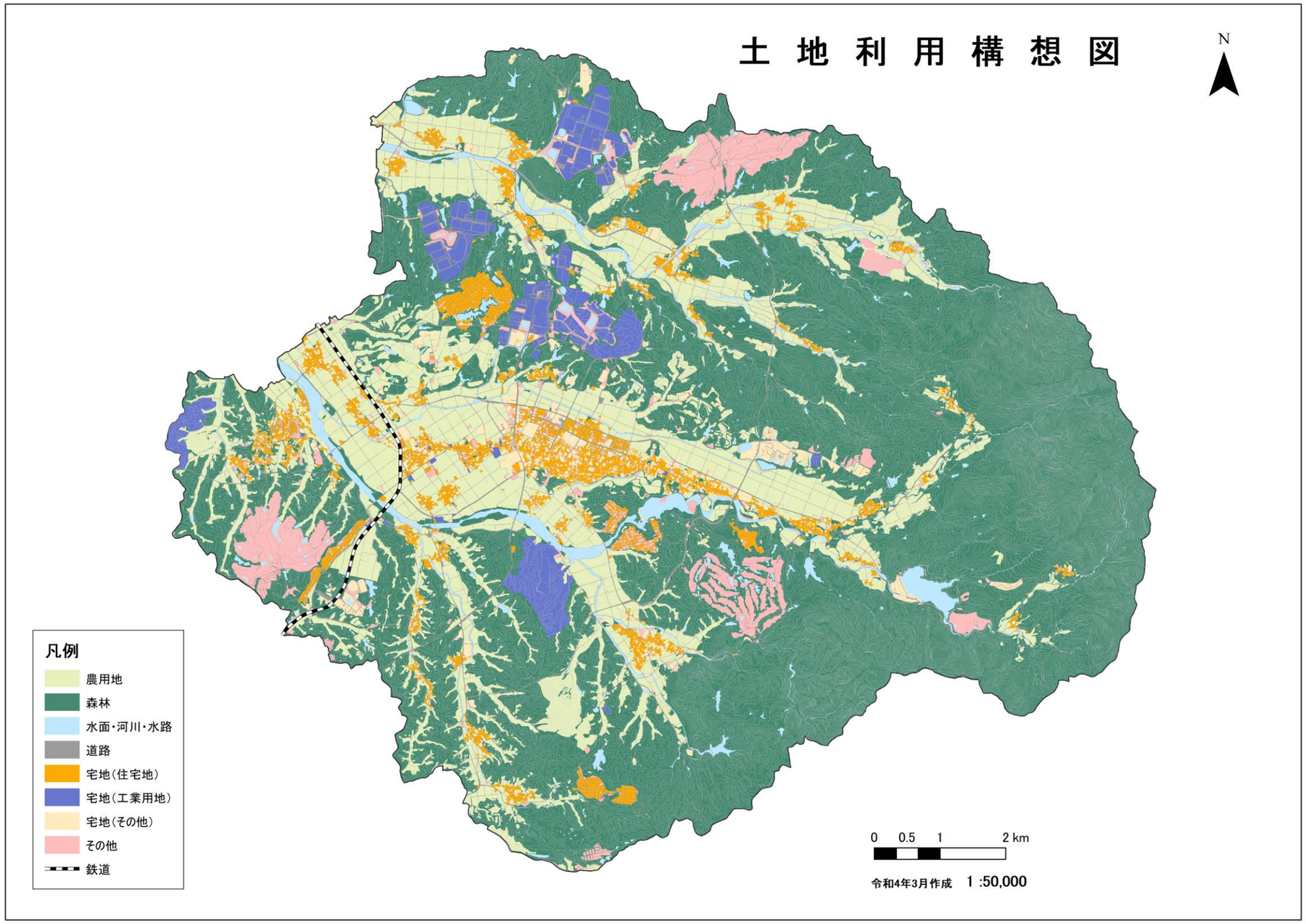

土 地 利 用 構 想 図
N
凡例
農用地
森林
水面・河川・水路
道路
宅地（住宅地）
宅地（工業用地）
宅地（その他）
その他
鉄道
0 0.5 1 2 km
令和4年3月作成 1 :50,000

図　土地利用構想図

日野町 企画振興課
〒529-1698　滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目１番地
TEL：0748-52-6552
FAX：0748-52-2043
E-mail：kikaku@town.shiga-hino.lg.jp
ホームページ：https://www.town.shiga-hino.lg.jp/